

優秀賞

あなたは交通ルール守ってる？

大刀洗中学校 2年 河井 咲結

自転車に乗る時、交通ルールを守って運転している人はどれくらいいるのでしょうか。自転車は、運転免許がいらないので小さい子から高齢者までいろいろな人が誰でも乗れてしまう便利な乗り物です。なかには、交通ルールを知らずに乗り続ける人が多く、ルールを無視した危険な運転による交通事故が多発しています。

あるアンケートによると、車の運転ドライバーが怖いと思う自転車の行動が「右側通行、斜め横断、片手運転、無灯火運転、一時不停止、信号無視、けい帯電話の使用」とありました。私は、右側通行をしてしまっていた時があったので左側通行するように意識して走りたいと思いました。自転車事故で多いのは、出会い頭の衝突だそうです。約半数が出会い頭での衝突で、一時停止標識を無視して走ると自転車とぶつかる危険性があったりします。次に多いのは、右折の時、左折の時です。後ろから来る自動車を確認しなかったために事故が起きます。

自動車運転中に自転車との事故を防ぐために気をつけていることは何かと家族に質問すると、「自転車がどんな動きをするか分からないから、突然にそなえてかなり注意している。速度を落とす。無理に追い越さない。クラクションをならさない。」などの答えが返ってきました。自転車が横ならびで走っているときは、自転車が気づいて一列になってくれるまでクラクションをならさず、自転車のうしろを注意しながら運転しているそうです。もしクラクションをならして自転車を運転してしている人が驚いてぶつかったりしたら危ないからならさないほうがいいと思います。

私は自転車で通学するようになって、今のところ、こわいと思ったことはまだありません。でも、いつ自分が事故をおこしたり、巻き込まれたりしてもおかしくないと思うので自転車に乗る時は危険な運転はせず、車に注意しながら運転したいと思います。